

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 6 月 26 日(2023.6.26)

【公開番号】特開 2022-191149(P2022-191149A)  
【公開日】令和 4 年 12 月 27 日(2022.12.27)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-239  
【出願番号】特願 2022-42195(P2022-42195)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 6 月 16 日(2023.6.16)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

遊技の演出にかかわる動作を行う複数の可動部と、  
を備え、

前記複数の可動部は、

発光手段を有する特定可動部を有し、

前記遊技の演出の一部として前記特定可動部の発光手段を用いて前記特定可動部とは異なる所定の装飾部を発光させることが可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0001  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0001】

本発明は、例えばパチンコ機あるいはパチスロ機等の遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0002  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

40

【0002】

従来、パチンコ機あるいはパチスロ機といった遊技機において、当落判定を行い、この当落判定の結果に応じて遊技者に有利なゲームを実行する遊技機が知られている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0003  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0003】

50

この種の遊技機では、当落判定の結果が表示される前に、当落判定の結果が遊技者に有利な結果であることを期待させるために可動役物を作動させる可動役物演出を行い、演出効果を高めるようにしたものがある。例えば、特許文献１に開示された遊技機では、液晶表示器の前方において可動体を作動させる可動役物装置が開示されている。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

10

【特許文献１】特開２０１４－０７６２０８号公報

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

しかしながら、例えば特許文献１の遊技機では、興趣を高めるには限界があった。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明に係る遊技機は、

遊技の演出にかかわる動作を行う複数の可動部（例えば、右頭可動体ユニット３３００、右顔可動体ユニット３４００、右顎可動体ユニット３５００、）と、  
を備え、

前記複数の可動部は、

発光手段（例えば、発光基板３４１６）を有する特定可動部（例えば、右顔可動体３４１０）を有し、 30

前記遊技の演出の一部として前記特定可動部の発光手段を用いて前記特定可動部とは異なる所定の装飾部（例えば、右顎可動体３５１０）を発光させることが可能である

ことを特徴とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

40